

パラアート2020夏企画

野鴨

のがも

ワークショップ・プログラム／創作の過程を公開し、
観客と意見を交わし、さらなる進化を目指す

原作／ヘンリック・イブセン『野鴨』
構成・演出／小野寺修二

2020.7.26 [日]
14:00開演(13:30開場)

★小野寺修二(構成・演出)、
廣川麻子(本企画プロデューサー)、出演者らによる
プレトーク、アフターディスカッションあり

川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

料金(全席指定・税込)
一般1,500円／学生1,000円
障がい者割引 一般1,000円

ワークショップ 7.24 [金・祝]

- ◆音・おと・OTO～手作り音創りワークショップ
10:30～12:00 (対象:4歳～小学生)
- ◆身体表現ワークショップ
13:00～14:00 (対象:中学生～大学生)



日本ろう者劇団×デフ・パペットシアター・ひとみ×カンパニーテラシネラ

ろう者×手話×身体表現の新たな地平を探して

主催・お問合せ:川崎市アートセンター tel. 044-955-0107 E-mail. info@kawasaki-ac.jp https://kawasaki-ac.jp/

協力:(社福)トット基金、(公財)現代人形劇センター、日本ろう者劇団、デフ・パペットシアター・ひとみ、カンパニーテラシネラ 後援:NPO法人しんゆり 芸術のまちづくり

寄付:リコー株式会社 FreeWill 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会



ダンス・マイム・手話・コトバ 境界を超える舞台!

日本のろう者※の舞台芸術をリードしてきた2つの劇団を中心に、他ジャンルのアーティストと共に作品創作を行うプロジェクト。構成・演出には、身体を生かした舞台表現の騎手、小野寺修二(カンパニーデラシネラ)。ダンス・マイム・手話・コトバの表現の境界を超えた、新たな世界を切り開きます。ワークショップ(稽古・本番を公開し、積み重ねながら作品を進化させていく)という手法で、2018年から4年間に及ぶ長期プロジェクトの、本公演は3年目の集大成です。

「真実」。物事の「真実」を信じる男が友人に突きつける「真実」。物事の「真実」を信じる男が友人に突きつける「真実」。物事の「真実」を信じる男が友人に突きつける「真実」。

シンプルで、ろう者、聴者、それぞれ個性のある俳優による、イプセンの皮肉な世界が広がります。ひとつひとつのシーンが絵画のように織りなされ、セリフに頼らず、想像力を使う舞台です。(※ろう者・日本手話を母語とする人)

日本ろう者劇団

1980年創立。ろう者の俳優が演じる手話狂言やその他の演劇によって、ろう者独自の文化に対する一般の理解を深めるとともにより多くの人々に手話の魅力と演劇の素晴らしさを伝え、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる演劇づくりを目的としている。

デフ・パベットシアター・ひとみ

1980年創立。川崎市を拠点に、日本で唯一ろう者と聴者が、協力して創作活動を行っているプロの人形劇団。人形劇が持つ「視覚的な」魅力に着目し、ろう者の感性を活かした新しい表現の可能性に挑戦し続けている。

カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースとした独自の演出は、世代を越えた注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演など多数。また、小中学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。



参加者募集

音・おと・OTO ～手作り音創りワークショップ

「音」を耳で聞くだけでなく、目で見たり身体で感じてみよう。人形や物の動きを見て、そこから感じるものを「音」であらわすことにチャレンジします!

◆7/24(金・祝)10:30~12:00 (10:15より受付)

講師:やなせけいこ
増子仁美(デフ・パベットシアター・ひとみ)
参加費500円/定員10名/対象:4歳~小学生
※保護者の方の付添可 ※ろう者もご参加いただけます。

身体表現 ワークショップ

パントマイムで大切なことはイメージすること、物事をよく観察することです。これらをテーマに、パントマイムの特徴である創造性と創造力を大切に、舞台を身近に感じてもらえる時間にしていきます。

◆7/24(金・祝)13:00~14:00 (12:45より受付)

講師:小野寺修二(カンパニーデラシネラ)
参加費500円/定員10名
対象:中学生~大学生

ワークショップ 7.24 [金・祝]

川崎市アートセンターでの「野鴨」上演にやせて、楽しいワークショップを用意しました。音創りを通して耳の聞こえない人たちのことを、また、パントマイムや身体表現をより深く知ってもらえるワークショップです。ご参加をお待ちしています!

★ワークショップ応募方法

- 7/14(火)よりメールにて受付。応募の際は次の①~⑤をご記入ください。
メールアドレス▶theatre@kawasaki-ac.jp ※定員になり次第終了。
①希望ワークショップ名 ②参加者氏名(ふりがな)
③学年 ④電話番号 ⑤保護者氏名

※原則お申込み後3日以内に返信いたします。返信がない場合は川崎市アートセンターまで、電話またはファックスにてお問合せください。
※ワークショップの様子を写真等で記録し、川崎市アートセンターの広報等で使用することがあります。
※いただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに基づき、必要に応じて保健所等公的機関へ情報提供を行なう場合がございます。

観客と意見を交わし、さらなる進化を目指す

ワークショッププログラム「創作の過程を公開し、

野鴨

のりも

パントマイム2020夏企画

2020.7.26 [日]

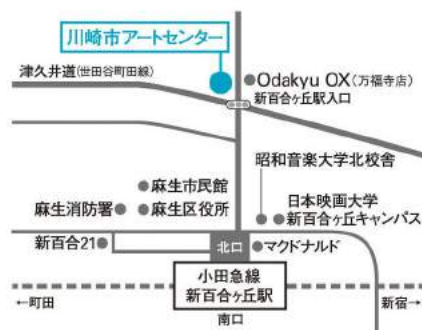
14:00開演(13:30開場)

料金(全席指定・税込): 一般1,500円/学生1,000円
障がい者割引: 一般1,000円
※おすすめ年齢10歳以上。未就学児のご入場はご遠慮ください。

取扱い: 川崎市アートセンター ●7/14(火)より発売
web▶<https://kawasaki-ac.jp/th/>
tel▶044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第2月曜のぞく)
窓口▶9:00~19:30(原則毎月第2月曜のぞく)

※学生券のお客様は公演当日、学生証を確認させて頂く場合がございます。
※障がい者割引は窓口・電話のみ取扱い。要障がい者手帳提示。付添1名同額。
※車いすでご来場のお客様は当日のスムーズなご案内のためチケット購入後、事前に川崎市アートセンターまでご連絡をお願いいたします。

原作:ヘンリック・イプセン『野鴨』 | 構成・演出:小野寺修二 | テキスト:山口茜
照明:阿部康子 | 音響:池田野歩 | 演出助手:藤田桃子 | 舞台監督:清水義幸(カンパ)
稽古手話通訳:熊木洋子、小松智美、脇水彩、橋本一郎
企画・制作:(社福)トット基金、(公財)現代人形劇センター



**川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場**
小田急線新百合ヶ丘駅北口 徒歩3分
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
tel 044-955-0107 fax 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp <https://kawasaki-ac.jp/>
※駐車場はございません。※本公演をご鑑賞されるお客様、odakyu OX万福寺店駐車場のサービス券(90分)を200円にて発行しております。

- お客様へのお願い
- ご来場の際、マスクの着用をお願いします。
 - 発熱や咳など、体調に不安のある方は入場をお断りする場合があります。
 - 川崎市アートセンターでは新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、適切な感染予防対策を行います。詳細はHPをご覧ください。

出演:鈴まみ・数見陽子・中江央(日本ろう者劇団)、榎本トオル・増子仁美(デフ・パベットシアター・ひとみ)、零境、福島梓、高橋美帆、崎山莉奈 写真:2018年度ショーイング©(社福)トット基金